JAだよりおおがた
Ogata
7
JULY
2017 No.528

特集

①第48回ＪＡ大潟村通常総会 04
②東北一の産地を目指して たまねぎ生産組合設立 06

今月の表紙 **イチョウの実（銀杏）**

６月21日、「銀杏のオーナー」が管理している県道脇のイチョウの木に、まだ未熟な実がなっていました。

イチョウの実を銀杏（ギンナン）といいますが、姿が杏（アンズ）に似ており、内側が灰白色を帯びているので「銀」の文字が当てられ、ギンアンが訛ってギンナンとなったそうです。

今月号の主な内容

02 あぐりプラザ情報・健康百科
03 女性部活動だより
07 営農だより
08 理事会報告・インフォメーション・青年部活動報告と予定
09 おぉがたな話題・職員人事
10 フォトニュース・新採用職員紹介

みんなのよい食プロジェクト
食は日本の未来。JAグループ
JAグループ秋田キャッチフレーズ
いいねをいっぱい届けたい
JA大潟村

あぐりプラザトクトク情報

★ポイント３倍デー

７月14日㈮　７月26日㈬

畠栄・ミスド予定

★今月の特売日

７月20日㈭～21日㈮

畠栄・ミスド予定

★土用の丑

７月25日㈫

予約注文承り中です！

★お盆おもてなし料理等の予約注文、間もなく承ります！

あぐりプラザおおがたの配達サービスをご存じでしたか？

当店でお買物していただいた商品や、電話等で注文していただいたビール・飲料などを、無料でご自宅までお届けするサービス（定期配達）を行っております。車での来店が出来ない方、外出が難しい方はぜひご利用下さい。

※配達時に配達員が、直接商品の代金を受け取ることはできません。お支払方法については、注文の際にあらかじめお知らせください。

配達日　月曜日から土曜日（日曜日は配達お休みです）

※ただし、部活動・大会等のお弁当類は日曜日でも配達いたしますので、どうぞご利用ください。

配達時間　午後３時から午後４時半頃まで

【営業時間】午前８時30分～午後７時（日曜日も営業しております）　お問い合わせは生活課（45－2214）まで。

健康百科　女性に多いバセドー病

佐久総合病院名誉院長
松　島　松　翠

「バセドー病」というのは、甲状腺から出るホルモンの分泌が過剰になることにより、さまざまな症状が起こる病気です。

甲状腺は、喉仏の下辺りにある器官で、チョウが羽を広げたような形をしています。一種の内分泌腺で、ここから甲状腺ホルモンを分泌しています。甲状腺ホルモンは、いわば「体を元気にするホルモン」で、新陳代謝を活発にしたり、交感神経や心臓などの活動を高め、汗や脈拍を調節するなどの重要な働きがあります。

バセドーとは、この病気を明らかにしたドイツの医師の名前ですが、バセドー病は免疫の働きに異常が生じて起こると考えられています。そのため甲状腺ホルモンの分泌が過剰になってしまい、いろいろな症状が出てくるのです。

バセドー病の発症は女性に多く、患者さんの約80％は女性です。また女性の200～300人に1人の割合で発症するといわれ、特に20～40代に多く見られます。

バセドー病では、次のような症状が現れます。

(1) 暑がる、多量の汗をかく……新陳代謝が活発になって、体温が常に37度を超えるため、暑がったり、多量の汗をかきます。

(2) 食欲の増進、体重の減少…食べた物がすぐに消化され空腹が続きます。エネルギーの消費も大きくなるため、過度に食べても体重は減っていきます。

(3) イライラする、感情的になる…神経が高ぶるため、怒りっぽくなったり、感情が不安定になることがあります。

(4) 指先の震え、動悸（どうき）…神経や心臓にも影響が出るため、指先が震えたり、脈が速くて動悸が起こることもあります。

これらの症状が疑われたら、まず内科を受診してください。症状と血液検査によって、ほぼ診断できます。

バセドー病の症状は、単なる体調不良の際にも起こるようなものが多いため、バセドー病とは気付くことなく、長い間症状に苦しんでいる人も少なくありません。長く続く場合は放っておかないことが大切です。

第396号

女性部「活動だより」

☆これからの行事予定

◎７月20日（木）
家の光大会　秋田市文化会館　（２ポイント）

◎７月31日（月）
野菜栽培講習会　秋まき野菜等
ＪＡ会館　午後１時30分から　（２ポイント）

◎８月16日（水）
大潟村盆踊り大会参加
　女性部でも参加しようと思います。多くの部員の参加で盆踊り大会を、楽しく盛り上げましょう。参加のほどよろしくお願いいたします。（栢森慶子記）

◎９月上旬
移動研修１泊２日　山形庄内方面

★実行委員の募集について

　来年度は、大潟村婦人会50周年、ＪＡ女性部45周年の記念の年になります。記念事業開催のための準備を８月末には始めたいと思います。
　つきましては、２年にまたがりますが、実行委員会を作って作業したいと思います。お手伝いしてくださる方を募集しますので、執行部までご連絡をお願いいたします。（山本嘉子記）

★活動報告と各種会議報告

◎野菜栽培活動グループ・長ネギ定植（５月31日）

　４月７日に種まきし、各会員が育てた苗を持ち寄り10人で植えました。同じように育てたはずなのに成長具合は様々でした。昨年より間隔を広くとって植えたので、太い長ネギができるのではと思います。（Ｋ・Ｉ記）

長ネギ定植

◎野菜栽培活動グループ・草取りとニンニク防除（６月５日）

　ニンニク・たまねぎ・ジャガイモの草取り、長ネギの追加定植・補植を７人でしました。生育調査を兼ねてニンニク・たまねぎを試し取りし、各自家庭で味見をすることにしました。（Ｋ・Ｉ記）

◎南秋連合婦人会正副会長会（６月７日）

　今回は井川町の担当で、咲き始めたバラや彫刻に癒されながら国花苑を散策し親睦を深めた後、研修として井川町議会を傍聴させていただきました。
　午後からは南秋大会や県の大会など今後の活動について話し合いました。多くの地区で会員の減少、特に若い方の加入が伸びていないことが、今後の活動の継続において心配なところですが、大潟村はわずかですが増加傾向にあります。ＪＡ女性部を兼ねていることで活動に幅が出ているのかなと、その良さを今後も生かした会にしていきたいと感じて帰ってきました。（山本嘉子記）

◎防災訓練（６月８日）

　婦人会の参加は５名、総勢17人での炊き出しでした。当日はあいにくの雨天でしたが、婦人消防協力隊のテント張り、鍋の準備など、段取りの良さにはびっくりさせられました。
　日赤奉仕団は大鍋でご飯を炊いてくれました。火加減が難しいようですがとてもおいしかったです。
　婦人会はカレーを80人分用意し、とてもおいしくできました。もしこのような状況におかれた時に、こんなにおいしい食事が出たら、心がほっこりあたたまる気がします。
　また、大勢の方々と何かを達成した時のうれしさも感じました。参加して良かったと心から思います。（伊藤尚子記）

◎ＪＡあきた女性組織協議会理事会（６月12日）

　県ＪＡビルで第２回の理事会がありました。平成29年度開催事業、平成29年度参加事業などについて話し合われました。
　中でも、７月20日の家の光大会では米消費拡大を図ろうと、「ニコ・ニコむすび大作戦」で組織の意志結集や消費者へのＰＲを図ります。そのため、今回はおにぎりを一人２個持っての参加となりました。詳しくは家の光９月号に掲載するとのことでした。（栢森慶子記）

◎野菜栽培活動グループ（６月13日）

　午後からサツマイモの苗を５畝に定植し、人参の種を２畝に蒔きました。今年は栽培作物で係が決まっていたので、係の人が中心になってスムーズに作業が進みました。
　６月９日の夜、今までの作業確認とこれからの作業についての話し合いをした時に、ＪＡ女性部の幟（のぼり）を立てようという提案があったので、この日は立てて作業しました。（小澤美智子記）

サツマイモ定植

◎サルビア植栽（農地・水・環境保全）（６月14日）

　午前９時半より、大潟富士の周りにサルビアの苗を植えました。そのあと、経緯度交会点の周りにも植えました。フレッシュミズさん６名と女性部・婦人会11名の参加で、手早く作業が進みました。たくさんの参加ありがとうございました。（鈴木富士子記）

サルビア植え

特集①

第48回 通常総会

～剰余金処分案など全議案を可決～

6月28日、JA会館大会議室で第48回通常総会を行いました。当日の出席状況は、正組合員1，104名のうち本人出席59、委任状6、議決権行使書929となりました。議案は「第48年度事業報告及び剰余金処分案の承認の件」など11議案と付帯決議で、審議の結果全て可決となりました。

議長の工藤氏（写真左）と竹本氏（同右）

来賓の髙橋浩人村長

あいさつする小林肇組合長

開会にあたり小林肇組合長は、「生活店舗については、経費削減により3期連続赤字を免れることができた。利用者には大変な不便をかけたが、今後も店舗存続のために努力していきたい。しかしながら、現在村が公募しているコンビニエンスストアを、他の事業者が経営することになれば、不確定要素ではあるが、店舗の収益が約1千万円減るとJAでは試算している。このような事態を避けるため、JAも出店事業者として応募することを理事会で決定した。組合員の皆様からのご理解をお願いしたい」とあいさつしました。

議長には工藤勝氏（東3の1）と竹本健治氏（東2の4）が執行部一任で選出されました。両氏の進行で審議が行われ、全てが可決されました。

質疑では、定住者利便性向上事業として、大潟村が出店事業者を募集している「コンビニエンスストア」について組合員から、「もしJAがコンビニの公募に落選したら、店舗は廃止するのか？毎年1千万円の赤字を出すことになれば、店舗の存続など考えられない」、「JAは村の生産基盤を維持し、向上させる役割がある。店舗は居住区の中央に位置し、運転できない高齢者の拠所であり、村の重要なインフラを担っている。なくなってはいけないという村民の思いを受け止めてほしい」、「1月に髙橋村長自らJAに出向き、コンビニ出店応募のお願いをしたことはいい事だと思っていた。しかし実際はJAに声かけする体裁をとっただけで、村長が社長を務める第三セクターの㈱ルーラル大潟が運営しようとどんどん計画を進めていて、コンビニ店長候補の求人もすでに出しているという。やっていることがめちゃくちゃだ。官が民を圧迫している」、「10年前にJAでコンビニ運営を計画した際は、組合員の理解が得られずに計画を取り下げた経緯がある。コンビニ公募の話が出た今、準備を積んでいるJAがやるのが当然では」、「我々千人の組合員は、コンビニ業者選定についてこのような事情があることなど知らなかった。すぐに速報を出して詳細を知らせるべき」、「この事態は、やっと一つになった村を再び分断する新たな火種になるだろう。このような実情を、二千人の有権者、三千人の村民にも説明する義務がJAと議会にはある」など、質問や意見が多数寄せられました。

JA大潟村では事業重点項目を次ページのとおり掲げ、組合員の皆様の営農と生活を守ることを理念として今後も役職員一同努力してまいります。JAの情報はホームページ（http://www.ja-ogata.or.jp/）でも随時発信しておりますので、ぜひご覧ください。

皆様からたくさんのご意見やご要望が寄せられました

ご参加ありがとうございました

提出議案及び報告事項

報告事項

1．第48年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）貸借対照表、損益計算書及び注記表の内容並びに全国監査機構の監査報告及び監事の監査報告の件

議案

第1号　第48年度事業報告及び剰余金処分案の承認の件
第2号　定款の一部変更の件
第3号　定款附属書役員選挙規程の一部変更の件
第4号　定款附属書学識経験役員選任規程の一部変更の件
第5号　定款附属書員外監事選任規程の一部変更の件
第6号　規約の一部変更の件
第7号　総会議事運営規程の一部変更の件
第8号　全国農業協同組合連合会が行う農業経営事業に関する同意の件
第9号　事業計画の設定の件
第10号　退任理事に対する退職慰労金支給の件
第11号　理事及び監事の報酬に関する件

付帯決議

1．決議事項中、行政庁の認可、承認等を必要とするものについて、総会決議の内容を変えない字句等の変更は理事会にご一任願います。

2．年度途中で、事業計画の一部について軽微な変更を要するに至ったときは、理事会で当該計画の変更ができることをご承認願います。

その他

総会参考書類並びに決算書類（貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び事業報告並びに附属明細書）に修正が生じた場合は、インターネット上の当組合ホームページ（http://www.ja-ogata.or.jp/）に掲載させていただきます。

〈安全・安心農産物の生産振興〉
GLOBAL−GAP
（国際標準の農業生産工程管理）
認証取得に関する勉強会

〈ＧＰＳシステムの調査、検討〉
ＧＮＳＳ（汎地球測位航法衛星システム）を搭載した田植機による田植えの実演会

〈高齢者福祉対策〉
ＪＡ健康寿命100歳プロジェクト
（グラウンド・ゴルフ大会）

〈野菜の生産振興〉
村で新たに力を入れる「たまねぎ」の生産組合設立総会

平成29年度 事業重点項目

1. 指導・販売事業

（営農支援課）
- 野菜の生産振興
- 試験研究事業への取組
- 安全・安心農産物の生産振興
- 営農支援体制の充実
- 後継者の農業技術向上への取組
- 米需給調整への対応

（生活課・生活指導）
- 高齢者福祉対策
- 健康管理対策
- 組織活動の強化
- エコ運動の推進

2. 購買事業

（生活課・店舗）
- 宅配サービスの向上
- 各部門の強化
- 利用者サービスの向上
- 専門知識の習得
- 店内外設備の保守修繕
- 部門採算性の改善

（資材課）
- トータル生産コスト低減への取組
- 多様化する需要への対応

（給油所）
- 農業生産コスト低減への取組
- 燃料の安定供給の確立
- 利用者ニーズに応える事業推進
- 施設等の維持管理

（整備課・農業機械）
- 整備業務体制の充実
- 低コスト化に向けた相談機能の強化
- 農業機械による農作業事故撲滅の取組
- ＧＰＳシステムの調査、検討

（整備課　自動車）
- 整備業務体制の充実
- 低コスト化に向けた相談機能の強化
- 事故車受付時の関係部署との連携強化

3. 信用・共済事業

（金融課）
- ＪＡバンク中期戦略に基づく事業展開
- 利用者基盤の拡充・再構築
- 人材育成の取組

（経営課）
- 農業経営の改善・支援に係る充実強化
- 農業関係資金の対応力強化
- 収益の確保
- 相続相談に向けた対応

（審査課）
- 審査体制の充実
- 内部牽制機能の強化
- 広報活動の充実

（共済課）
- 事業基盤の確保に向けた共済事業実施態勢の強化
- 共済事業として地域活性化に貢献する取組の強化
- 共済事業の健全性・信頼性の確保

（企画課）
- 特産品・ＪＡ宣伝活動
- 組合員研修・ＪＡまつり・座談会の充実

4. 総務

（総務課）
- 内部統制整備に向けた取組及び確立
- 自己資本の増強と部門採算性の確立
- コンプライアンス態勢の確立
- 人事育成基本方針に伴う職員の職務遂行能力の充実
- 収益の安定化に向けたリスク管理の強化

〈組合員研修・ＪＡまつり・座談会の充実〉
平成30年の米政策転換を見据えた組合員研修会を開催

〈特産品・ＪＡ宣伝活動〉
秋田ノーザンハピネッツへの協賛および、大潟小学校児童を試合観戦に招待

〈共済事業として地域活性化に貢献する取組の強化〉
「アンパンマンこどもくらぶ」活動による次世代・子育て世代層との絆づくり

〈ＪＡバンク中期戦略に基づく事業展開〉
複雑で面倒な年金の手続きをお手伝いし、疑問や不安を解消してもらう年金相談会

特集②

東北有数の産地になるか
たまねぎ生産組合設立

ＪＡでは、「野菜の生産振興」を事業重点項目に掲げ、所得増大に資する高収益野菜の産地化に向けた品目選定と機械化一貫体系の確立などを目指しています。
世界各地で様々な料理に使われ、日本の食卓にもなくてはならない食材「たまねぎ」。大潟村を東北地方の一大産地にしようという試みが始まっています。

大潟村ではメロン・かぼちゃ・ニンニク・花きなどの園芸作物が栽培されていますが、この度新たに、村内12農家とＪＡ青年部・農業近代化ゼミナールの２組織がたまねぎの生産組合を立ち上げ、村の新たな主要作物として栽培に取り組んでいくことになりました。

たまねぎの産地としては、北海道が国内シェアの半数以上を占めトップ、次いで佐賀県、兵庫県の淡路島が有名です。しかし、2016年春に佐賀県で「べと病」が大発生し、同年夏に相次ぐ台風が北海道を直撃したため、たまねぎが品薄状態になり、値段が高騰しました。このような状況の中、もともと東北地方にはたまねぎの有力な生産地がなかったこともあり、大潟村を東北有数の産地にしようという機運が高まったことから、生産組合を立ち上げ本格的に取り組むことになりました。

６月14日にＪＡ会館中会議室で行われた設立総会には、農家17人とＪＡおよび村職員４人の計21人が参加しました。議長を務めた営農支援課の藤原行毅課長の進行で「規約」「事業計画」「予算」「役員選出」の議案審議を行い、全て可決されました。選出された役員の皆さんは以下のとおりです。

ＪＡ営農支援課の藤原行毅課長（写真右）と
大潟村産業建設課の増永洋課長（同左）

組合長
菅原　和幸さん

副組合長
埴生　望さん

会　計
澤田　義之さん

監　事
富田　正彦さん

幹　事
遠藤　暁さん

幹　事
近藤　敬二さん

幹　事
前田　久さん

組合長に選出された菅原和幸さんは、「たまねぎ栽培は２年目で、まだうまく栽培できないが、皆さんからの協力をいただきながら頑張っていきたい」と抱負を述べました。

大潟村産業建設課の増永洋課長は、「村では、メロン・かぼちゃ・ニンニクと同様にたまねぎの種苗費について、田んぼで栽培する場合も、育苗団地や園芸団地等で栽培する場合も、２分の１を上限に助成する。また、たまねぎ栽培に使用する機械についても助成できるよう、県に要望を出している。村もＪＡと一緒になって支援していきたい」と述べました。

埴生望副組合長の圃場で行われた、農機メーカーによるたまねぎ収穫機の実演会（６月30日）

営農だより

※このコーナーは隔月で掲載致します。

園芸作物の栽培に取り組む大潟村の生産者を紹介していきます。

第２回は「たまねぎ」の生産者です。

埴生（はにゅう） 雄大（たかひろ） さん（27）

家族構成：父・母・祖母の４人

水稲30ha、小麦・大豆（２年３作）５ha、枝豆80ａ、たまねぎ（ステップ）20ａ、かぼちゃ（ハウス）８ａ

栽培を始めたきっかけは

にんにくを出荷していたスーパーの人に「たまねぎを栽培しないか」と勧められ、にんにくに替わり2年前から栽培しています。作期がにんにくとほとんど一緒なので、作りやすかったです。

出荷先は

県内スーパーや卸売会社の他、大潟村の特産品「米粉の皮で包んだ餃子」の原料として「㈱餃子計画」に出荷しています。自分の名義で産直センターにも出荷したところ、評判が良くたくさん売れました。

苗づくりと定植の方法は

8月末～9月初めに育苗ハウス内で、たまねぎ専用の播種機を使い、専用の苗箱で約55日間育苗します。10月末に定植機を使って苗を植え、次の年の6月末～7月初めに収穫します。今回は20ａの圃場に約50,000本の苗を植え、機械を使って収穫しました。

栽培しての感想は

たまねぎの育苗・定植・追肥・防除・収穫・乾燥・選別・調製などの作業は水稲が忙しい時期と重なりません。また、越冬する作物なので積雪期間中は手がかかりません。栽培を始めて2年目ですが、やってみて手ごたえを感じられ、とてもおもしろいです。

たまねぎ栽培には各種機械が必要なので、補助がなければなかなか難しいところがありますが、栽培する人が増えれば機械の共同利用もできるようになります。たまねぎ生産組合が組織されましたし、もっと仲間を増やしたいです。そのためにも我々で試験的にやるしかないと、覚悟を持って取り組んでいます。

栽培しての課題は

今回収穫したたまねぎはステップに定植したものですが、今年の秋は田んぼ1haに定植する予定です。たまねぎの機械に合わせた圃場作りと安定多収に向けた技術習得がこれからの課題になります。

たまねぎ栽培の年間スケジュール

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		追肥・防除	追肥・防除	防除 防除 防除	防除 収穫	乾燥・調製・出荷	種まき	育苗	定植	防除	

たまねぎ栽培を考えている農家の方々へひとこと

「稲作が忙しい時期と作業が重ならないですし、たまねぎは単価の高い作物だと思います。ＪＡ青年部と農業近代化ゼミナールもたまねぎ生産組合の一員なので、こういった若手組織の中から、たまねぎ栽培の仲間が増えてくれればうれしいです。ぜひ一緒に作ってみませんか！」

Information

農機・自動車展示会のご案内

整備課では夏のふれあい展示会を下記のとおり開催いたします。各種農業機械・自動車を取り揃えてお待ちしておりますので、ぜひご来場ください。

日時：７月20日（木）・21日（金）
午前９時～午後４時
場所：整備課前駐車場

お問い合わせは農機（45−2585）・自動車（45−2411）まで。

青年部 活動報告と予定

随時部員を募集していますので、興味のある方はぜひＪＡ大潟村営農支援課（TEL：45−3033）までご連絡ください！

●活動報告

６月17日　圃場巡回（村内）
　　さなぶり（秋田市川反）
６月21日　秋田県農協青年部協議会
　　正副部長・支部長・事務局合同会議・合同研修会
６月29日　青年部試験圃場のたまねぎ掘り取り
６月30日　青年部試験圃場のたまねぎ収穫

前日掘り取り、日に当てて消毒したたまねぎを集めます。生で食べても甘いそうです。

今年は試験圃場のかぼちゃの生育も順調です。

集めたたまねぎの葉と根を切っています。この後、JA農産物集出荷所隣の施設で乾燥させます。

●活動予定

７月中旬　圃場巡回（村内）

ＪＡ大潟村の概況　29年６月末現在

貯　金…	264億9,584万円	正組合員数……	1,104名
貸出金…	82億　384万円	准組合員数……	38名
出資金…	9億3,185万円		

理事会報告

６月15日開催

議　　案
第29号　定住者利便性向上事業「コンビニエンスストア」出店事業者の応募について

６月23日開催

報告事項
・業務報告（５月末事業実績等）
・コンプライアンス委員会報告
・安全衛生委員会報告について

議　　案
第30号　平成30年度職員採用試験について
第31号　夏期手当の支給について
第32号　出資口数減少願について
第33号　貸付金について

― JA秋田厚生連 湖東厚生病院より ―
夕方の時間外診療「夕暮れ診療」のお知らせ

診療体制変更のため、７月から診察曜日を変更します。

平成29年６月30日（金）まで	平成29年７月３日（月）から
月・水・金曜日（祝祭日除く） 午後５時～午後７時	**月～金曜日**（祝祭日除く） 午後５時～午後７時

◆対象…主に内科系疾患で原則15歳以上の方
通常の一般外来は行いませんので、ご了承くださいますようお願いします。

※ご不明な点はお問い合わせください。TEL：018−875−2100（代表）

「産直まつりinおおがた」のお知らせ

今年の「産直まつりinおおがた」では、大潟村特産のメロンの他、かぼちゃ、たまねぎ、にんにくの即売会を行いますので、ぜひご来場ください。

日時：８月５日（土）　午前８時～
場所：道の駅おおがた　産直センター潟の店
（TEL：0185−22−4141）

即売会は商品がなくなり次第終了

－五城目警察署からのおしらせ－
後部座席もシートベルトの着用を

シートベルトは大切な命綱

正しいシートベルトの着用は交通事故時の被害を軽減させる効果があります。
全席シートベルトの正しい着用を徹底しましょう。

幼児にも正しいチャイルドシートの着用を

かわいい幼児を事故の被害から守るチャイルドシートを正しく取り付けて使用しましょう。
また、大人自身が正しくシートベルトを締め、模範を示しましょう。

五城目警察署　TEL 018−852−4100

おおがたな話題

第７回　次々と革新にチャレンジするには？

「いま、どう対策を立てるのか？」先月号で私はそう書いた。様々な人に聞いてみると、ヒトが考え得る対策とはそんなに大きく違わないようだ。だが、問題はその次だ。その対策を決してあきらめずに事業化を探求する姿勢如何で違いが大きく現れてくる。

一例をあげよう。最近、筆者が訪ねた北海道美瑛町では、条件の不利な丘陵地を逆手に取って活性化を図る。熊谷留夫氏は、スノーモービル全国大会優勝４回の実績だが、同好の仲間を受け入れようと、四半世紀前、農家ペンション「ウィズユー」を開いた。冬季だけでなく年中集客して事業にするには「花だ」と直感し、農協理事として花直売所事業を提案した。が、９割方が反対し、代表者に「そんなに良いなら、自分でやったら？」と言われ、やむなく1999年に展望花畑「四季彩の丘」（www.shikisainooka.jp）を自力で始め、今日の美瑛町の傾斜畑と農作物と花の景観に先鞭をつけた。実績を評価された氏は、３年前から組合長としても忙しく働く毎日だ。

氏の会社の30名の常勤者の２人から話を聞くことができた。「見た目は普通の農家のおっさん。でも、突拍子もないことを言い出す。毎日が面白い」（Ａさん）。「私は悲観的なので、多くの場合、社長には反対するが、黙って聞いてくれる。が、一度言い出したら、絶対、あきらめずにやり切る。わが上司ながらすごい」（Ｂさん）、と。

「人格が才能の主人で、才能は人格の召使いである」（『菜根譚』※）と言われるが、ここには同じ目線と尊敬が両立している。次々と革新にチャレンジするには、内的にはフラットな人間関係が必要なようだ。

〈つづく〉

※中国明代末期の処世訓。菜根譚（さいこんたん）は、「菜根は、堅くて筋が多い。これを噛みしめることで真の味わいがわかる」が語源とされる。

秋田県立大学 名誉教授
佐藤　了

（さとう　さとる）
1949年秋田県生まれ。北海道大学大学院農学研究科博士課程単位取得。農林省農事試験場、農林水産省農業研究センター、東北農業試験場で試験研究に従事。1997年に秋田県立農業短期大学教授に就任。秋田県立大学生物資源科学部教授、学部長を経て、2014年３月定年退職。専門は農業経済と地域計画。

職　員　人　事

退　職　**６月30日付**　組合員の皆様、ありがとうございました。
佐々木喜勢子（整備課農機・臨時職員）　長い間お疲れ様でした。

異　動　**７月１日付**

職員の人事異動を行いましたのでお知らせいたします。

氏　名	新　任	旧　任
大森　悟	給油所給油係	給油所所長
相澤　陽一	整備課農機整備係考査役	整備課課長
納谷　和代	総務課付	監査課課長
西方　一明	給油所所長	経営課課長
児玉　雅樹	整備課課長	整備課課長補佐（自動車）
菅原　博樹	経営課課長	経営課課長補佐
石戸　悟郎	監査課課長	監査課課長補佐
伊藤　悌	経営課課長補佐	営農支援課営農指導係係長
石井　彰	総務課課長補佐	総務課管理係係長
畠山　貴幸	資材課課長補佐	資材課資材係係長
北嶋里江子	金融課課長補佐	金融課貯金係係長
平塚　美子	生活課生活指導係係長	金融課貯金係係長
後藤美奈子	整備課自動車業務係係長	整備課自動車業務係主任
木村　環	金融課貯金係主任	生活課生活指導係主任
伊藤美奈子	営農支援課営農指導係主任	金融課貯金係
栗林　紗幸	経営課貸付係主任	経営課貸付係
田中　佑哉	営農支援課営農指導係主任	総務課管理係

氏　名	新　任	旧　任
齊藤　究	営農支援課営農指導係主任	営農支援課営農指導係
中川　綾	審査課審査係主任	審査課審査係
浅野　浩之	整備課自動車整備係主任	整備課自動車整備係
猿田麻都香	総務課管理係主任	総務課管理係
斉藤　博徳	整備課農機業務係	整備課農機整備係
中田　真貴	整備課自動車業務係	共済課共済係
佐々木夕子	金融課貯金係	整備課農機業務係
佐藤　豊和	整備課自動車整備係	整備課自動車業務係
山田　雄大	総務課管理係	営農支援課営農指導係
千葉　祐矢	共済課共済係	資材課資材係
櫻庭　健太	総務課経理係	総務課臨時従業員

臨時従業員の人事異動を行いましたのでお知らせいたします。

氏　名	新　任	旧　任
佐々木豊晃	給油所給油係	資材課資材係
加藤　吉秋	資材課資材係	整備課自動車整備係
中道　淳人	整備課農機整備係	資材課資材係

がんばれ！大潟ドリームス

野球ボールを贈呈

共済課は6月6日、野球スポーツ少年団「大潟ドリームス」へボール3ダースを贈呈しました。

JA共済では毎年、生活福祉活動の一環として、学童の体力増強と健全なスポーツ精神の育成を図ることなどを目的に「JA共済学童野球大会」を開催しており、県内14JAの管内代表が頂点を目指します。ボール贈呈は、大会へ参加する同チームを応援するために毎年行っているものです。今年の大会は9月16・17日開催予定です。

高橋勇輝常務からボールを受け取った山内瑛仁（あきひと）主将は、「このボールでたくさん練習を重ね、一戦一戦勝っていきたい」と抱負を述べ、チーム一丸となって頑張ることを誓いました。

高橋勇輝常務（写真前列左）からボールを受け取る山内瑛仁（あきひと）主将（同右）

大潟ドリームスの皆さん、今年も熱戦を期待します！

国際標準の取得を目指して

GLOBAL―GAP勉強会

「安全・安心農産物の生産振興」を事業重点項目とするJAは、「GLOBAL―GAP」取得を通じて消費者へ安全・安心な農産物を提供することを取り組みの一つに掲げています。

営農支援課は6月15日、JA会館小会議室で「GLOBAL―GAP認証取得に関する勉強会」を開催し、かぼちゃの生産者とJA職員の5人が参加しました。

GAP（農業生産工程管理）とは、食品安全、環境保全、労働安全に関する法令等を遵守するための点検項目を定め、その実施、記録、点検、評価を繰り返しつつ生産工程の管理や改善を行う取り組みのことです。各都道府県や各JAグループなど、様々な組織がそれぞれの基準を設定しています。

GAPの中でも、「GLOBAL―GAP」は世界118カ国以上・15万件を超える認証件数で、日本国内唯一の国際標準GAPです。2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックを3年後に控え、注目を集めています。

講師を務めた㈱ファーム・アライアンス・マネジメントの数納朗（すのうあきら）氏

新採用職員のご紹介

これから皆様のお世話になる、平成29年度新規採用の職員です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

櫻庭（さくらば）　健太（けんた）

- 出　　身：井川町
- 所　　属：総務課経理係
- 趣　　味：野球観戦・映画鑑賞・筋トレ・ドライブ
- ひとこと：昨年12月から総務課でお世話になっております。正職員となりましたが初心を忘れることなく、業務を教わる姿勢や取り組み方を大切にして成長していきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

JAだより おおがた
〒010-0443 秋田県南秋田郡大潟村字中央1-5　TEL 0185-45-2211㈹　FAX 0185-45-2273
インターネットアドレス http://www.ja-ogata.or.jp/　組合長ブログ http://blog.ja-ogata.or.jp/
発行／大潟村農業協同組合　印刷：㈱八郎潟印刷